

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
世界を見つめ、共に生きる中で、自らの生き方を創り出す力を育てます。 に 人間愛豊かな心をはぐくみます。 し 自主・自立の力を高めます。 か 考える力を伸ばします。 な 仲間づくりや地域社会とのかかわりを大切にします。	「に」: 自己や他者を理解し、伝え合う力(人間愛) 「し」: 自らの生き方を創り出す力(自主・自立) 「か」: 国際社会で生きていく力(考える力) 「な」: 共に生きる仲間とかかわる力(なかま・まち)

(2) 中期取組目標

中期取組目標
「施設一体型義務教育学校における創造的な教育活動の実践・充実」 ～ 「きめ細かな学び」と「豊かな成長」目指して～
<ul style="list-style-type: none"> ・施設一体型義務教育学校としての教育課程の編成と教職員の連携・協働による教育実践を行います。 ・地域や国際交流、外国語活動・英語教育の推進、SDGs(持続可能な開発目標)等特色ある教育活動に取り組みます。 ・児童生徒の自己肯定感を高め、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指して児童生徒の言語活動の充実に努めます。 ・異年齢集団での教育活動全般を生かした思いやりの心の醸成、健やかでたくましい体の育成を図ります。

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

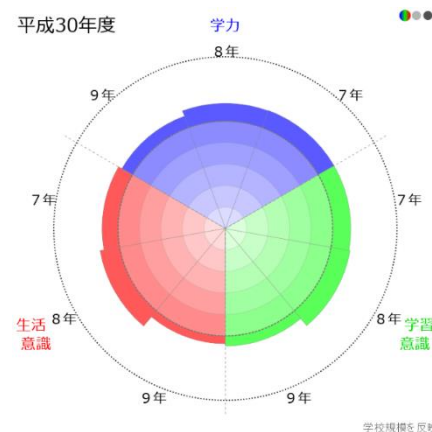
重点取組分野	具体的取組
確かな学力(学習指導) 担当 学習部	①新学習指導要領に則した9年間のカリキュラム作りを行うと共に、言語活動(伝え合う力の育成)を意識した指導実践を行っていく。②スタートカリキュラム、教科担任制、乗り入れ授業等の指導工夫を図り、丁寧できめ細かな指導を図っていく。③ICTを活用した授業実践を行う。

2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握

(1) 学力の概要と要因の分析

本校(中学部)は小規模校であり、市平均との単純な比較による考察は困難であるが、全般的に、学力・学習意識・生活意識ともに高い数値を表している。現9年生(30年度8年生、29年度7年生)、現8年生(30年度7年生)とも、学力面においてはどの教科も市平均を上回り、良好な結果であると言える。

生活調査によると、「学校の授業がよく分かる/だいたい分かる」と答えた生徒が約8割、「勉強が好き/どちらかと言えば好き」と答えた生徒が約5割いて、いずれも市平均を10ポイントほど上回っている。この2つがお互いに相乗効果をもたらしているのであろう。



(2) 教科学習の状況

- 国語: 概ね良好な結果である。「知識・理解」学習意欲も極めて高い。
- 社会: 現9年生の「知識・理解」に若干の課題がある。基礎知識の定着に努めたい。
- 数学: 概して各観点ともに良好な数値を示している。意欲を高める指導をさらに進めていきたい。
- 理科: 学習意欲は高い。実験・観察の技能が高い学年と低い学年があり、要因の検証が必要である。
- 外国語: 各観点ともに良好な結果であったが、30年度9年生の「言語に関する知識」が低かった。

(3) 経年変化の状況と要因の分析(学習・生活意識調査も含めて分析)

結果については、ここ数年大きな変動は見られない。「学習時間」や「塾・家庭教師で勉強する生徒数」もここ数年大きく変わっていない。ただ、「ほとんど読書をしない生徒」がやや増加しており、読書量の減少が学習面に及ぼす今後の影響が懸念される場所である。

3 2019年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組 (次頁)

	育成を目指す具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
国語	自己理解や良好な人間関係の形成のための伝え合う力	<ul style="list-style-type: none"> ・確実な受け手としての「聞く力・読む力」と、発信者としての「書く力・話す力」の向上を目指した課題の設定、また、実生活、実社会における「伝え合う力」を意識した授業の展開を心掛ける。 ・全学年においてスピーチ課題を取り入れて、「言語についての知識・理解・技能」事項の定着を図る。 	
社会	平和で民主的な社会の形成者として必要な公民としての資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの価値観をもち、さまざまな価値観を認めることができるような教材の開発、また話し合いなどの指導の工夫を行う。 ・現在の社会(世界)とつながる教育課程の開発、教材の研究を行う。 	
数学	数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをわかりやすくまとめ、表現することができ、また、他者の考え方も理解できるよう数学的活動を多く取り入れ、指導法の研究を行う。 ・指導計画を改善し、関数領域の基礎・基本の定着を図れるようにしていきたい。 	
理科	自然現象を科学的に探求する態度	「見通しをもって実験・観察に臨む(仮説を立てる)」「論理的に考察する」ことを重点的に指導する。	
音楽	言葉や音を介して伝え合い、豊かな音楽表現を主体的に探究する資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽表現の充実に必要な基礎的・基本的能力の伸長を図る。 ・合唱・合奏など、協力して一つの音楽をつくっていく体験を通して、音楽活動の喜びや互いを理解し合うことの大切さを感じとることができるような学習展開を工夫する。 	
美術	豊かに発想し構想を練り、創意工夫して作品を描いたりつくったり、鑑賞する資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜版学習指導要領に示す「学習の主題」を基に、育成する力を明確にした題材設定をする。 ・感じとったことや考えたことを基に、豊かに発想し、創意工夫して美しく表現することができる教材の開発と、題材全体の活動の中で、見直し・振り返りを大切にした授業づくりを行う。 	
保体	主体的・対話的な活動を通して、意欲的に取り組む資質や能力を育む。	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を明確にすることによって、一人ひとりが課題解決に向けて取り組める意欲を高める。 ・課題解決に向けて、生徒同士が対話的な活動を通して、深い学びを目指す。 ・できた喜びを実感できる授業づくりを心がける。 	
技・家	よりよい生活・社会の構築に向けて課題を設定・解決しようとする態度	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の資質・能力に応じて、自ら問題を見出すことができるような、地域社会と連携した題材設定を行う。 ・見方・考え方を働かせ、生活や社会の課題について対話的に解決策を探る活動を取り入れる。 	
外国語	異文化理解を深め、互いの考えを尊重しようとする態度を育む。	異なる文化に触れる中で自分の考えを深めたり、表現したりするような場面を意図的に設定し、活用する力を伸ばす。	
道徳	語り合うことで自分の考えを深める力	道徳の時間に取り組む様々なテーマについて、主体的に考え、多面的・多角的に議論することのできる授業を展開する。生徒同士の活発な語り合いの中で、個の考えを全体に発信し、自分に立ち返ることを大切に指導する。	
特活	集団の一員としての自覚をもち、多様な他者と関わりあいながら自分の良さを生かして活動しようとする態度	<ul style="list-style-type: none"> ・行事活動の充実に図り、学級や生徒会等の様々な単位で培うことのできる課題を設定し、集団の一員として、より良い生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。 ・心身の健康と個性の伸長を大切にし、コミュニケーション能力を育み、よりよい人間関係を築けるよう支援する。 	
総合	持続可能な社会を形成するための資質・能力	社会的視野を広げ、異文化理解や共生・協働について、生徒自らが考え、必要な実践へとつなげていく為に、ESD学習、世界遺産の学習、キャリア教育等の教材の開発や指導法の研究を行う。	

個別級	自らの課題に対し主体的に克服しようとする力	<ul style="list-style-type: none"> ・個別的教育支援計画、個別の指導計画に基づき、社会生活に必要なコミュニケーション能力の育成を図る。 ・生徒が自立活動の学習に主体的に取り組むために、一人ひとりの実態に応じた学習環境を整える。 	
-----	-----------------------	--	--